

令和5年度文化庁委託事業 東海北陸地域 劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 及び 令和5年度全国公立文化施設協会東海北陸支部 第2回支部研修会 開催要項

- 1 事業名
 - ・令和5年度文化庁委託事業 東海北陸地域 劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（以下、「舞台技術研修会」）
 - ・令和5年度全国公立文化施設協会東海北陸支部 第2回支部研修会（以下、「支部研修会」）
- 2 趣 旨 劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興等を目的としたアートマネジメントや劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識・技術の取得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を図る。
舞台技術研修会については、各地域において、劇場・音楽堂等を管理している職員を対象とし、舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより、地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
- 3 主 催
 - ・文化庁・公益社団法人全国公立文化施設協会（舞台技術研修会）
 - ・公益社団法人全国公立文化施設協会東海北陸支部（支部研修会）
- 4 開催期間 令和6年1月24日（水）～25日（木）〔2日間〕
- 5 会 場 不二羽島文化センター
〒501-6244 岐阜県羽島市竹鼻町丸の内6-7（電話 058-393-2231）
- 6 日程及び内容 別紙のとおり
- 7 受講対象者
 - (1) 劇場・音楽堂等に勤務する職員（指定管理者及び劇場・音楽堂等の管理・運営業務等を受託している企業等からの派遣職員を含む）
 - (2) 地方自治体の文化芸術行政担当職員及び劇場・音楽堂等施設関係者
 - (3) 民間の舞台技術関係者、大学等の高等教育機関・舞台技術やアートマネジメントの教育関係者・学生等、また関心のある市民等※公文協の会員だけでなく、非会館職員、民間企業社員、学生等も参加いただけます。
※他の地域から参加の申込みがあった場合、人数等不都合が無ければ受講は可能です。
- 8 申込方法 「参加申込書」に必要事項を記入の上、メール・ファクスのいずれかで提出してください。
- 9 申込期日 令和6年1月16日（火）
- 10 参加費
 - (1) 研修会 無 料
 - (2) 情報交換会 1名につき5,000円（当日、受付にてお支払ください。なお、できるだけお釣りのないようご協力ください）
会場：浜木綿 岐阜県庁前店（258-277-8511）
- 11 申込書提出先 （公社）全国公立文化施設協会東海北陸支部事務局
愛知県芸術劇場 劇場運営部劇場運営グループ 担当：富田・廣田
〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2
電 話：052-971-5609 F A X：052-971-5541
Eメール：tokaihokuriku@aaf.or.jp

令和5年度文化庁委託事業 東海北陸地域 劇場・音楽堂等職員
舞台技術研修会 及び 令和5年度全国公立文化施設協会東海北陸
支部 第2回支部研修会

日程・内容

◆日 程 令和6年1月24日（水）～25日（木）

◆会 場 不二羽島文化センター
小ホール、会議室及び正面玄関

◆内 容

【研修会Ⅰ】 基調講演「エンターテインメント・アート+テクノロジー」 小ホール

【舞台技術研修会】講 師：來住^{きし}尚^{なおひこ}彦（一般社団法人アート東京 代表理事）

來住尚彦監督作品「SHIP」は、2023年、中国圏で大きな反響を呼びました。アート・エンターテインメント+テクノロジーの融合をテーマとした同作品は、フィジカルのアート作品からデジタル世界へ一連に鑑賞できる体験型映画で、この最先端の技術やデジタル化がこれからの舞台のあり方をいかに変えていくのか、上映を交えながらお話しいたします。

【研修会Ⅱ】 講演「劇場、音楽堂等における指定管理者制度運用への提言」を読み解く
—改めて考える、いったいなんだったんだ指定管理者制度— 小ホール

【支部研修会】講 師：松浦 茂之（三重県文化会館 副館長兼課長）

指定管理者制度導入から20年近くを経て、令和5年10月5日に全国公立文化施設協会から「劇場、音楽堂等における指定管理者制度運用への提言」がとりまとめられました。この専門委員会特別部会に参画し、提言のとりまとめに携わった松浦氏をお招きし、制度改善へのポイント、自治体に向けて公共ホールがなすべきことを参加者全員で考えます。

【研修会Ⅲ・Ⅳ】 実技Ⅰ・Ⅱ 「1. ドローンを知る」、「2. 電波機器としてのドローンの使用上の注意」、「3. ドローンの飛行・撮影の実施」 会議室・正面玄関

【舞台技術研修会】講 師：來住 尚彦（一般社団法人アート東京 代表理事）、高橋賢太（Be-U株式会社 代表取締役）、澤口 敬一（Be-U株式会社）

最新鋭の舞台・アート作品の制作に活用され、日進月歩で進化が著しいドローンの飛行・撮影性能について、最新テクノロジーが満載されたその機能性や使用上の注意等を詳細に解説し、さらに実際の飛行・撮影の実演により、未来の舞台芸術に不可欠な存在として体感して頂きます。